

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目 次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・食品製造業、小売業、サービス業の海外展開



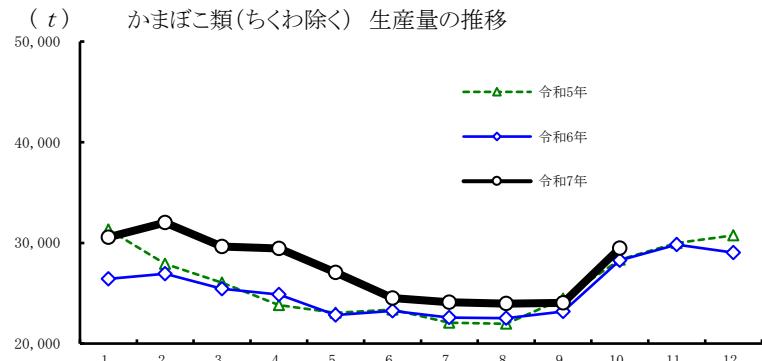
1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>
ここでは、加工食品の主な品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。
なお、詳細は、**11ページ**以降の「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

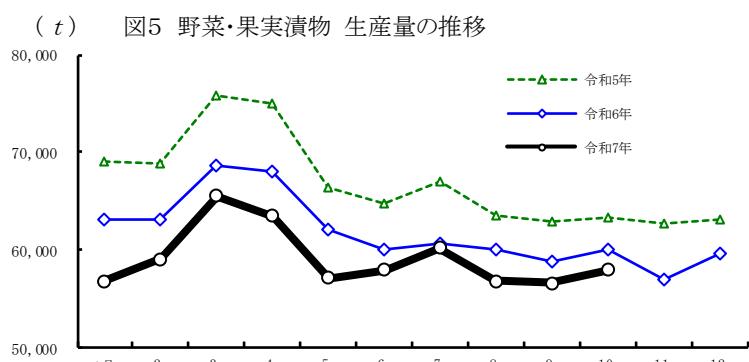
10月 4.3% 増加



○ 野菜・果実漬物

生産量 対前年同月比

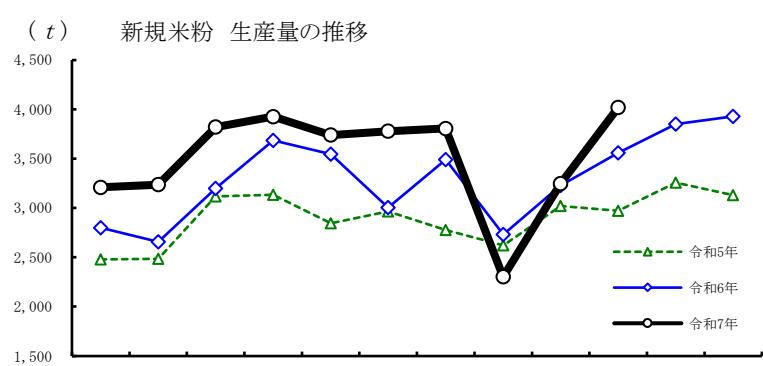
10月 3.6% 減少



○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

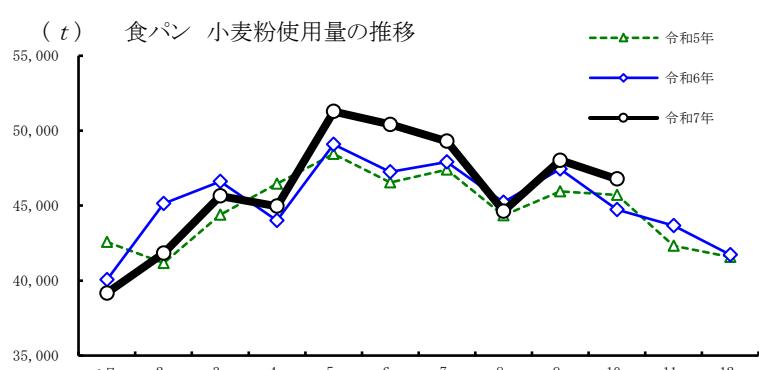
10月 13.0% 増加



○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

10月 4.6% 増加

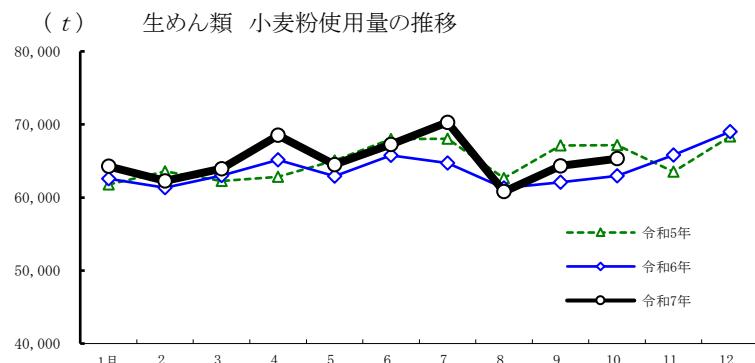


1. 加工食品の生産動向

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

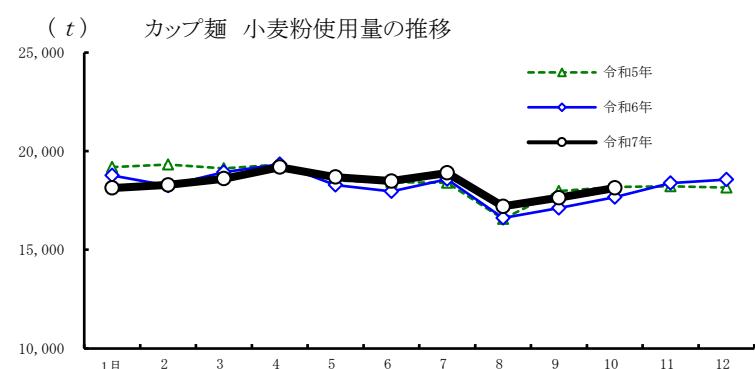
10月 3.8% 増加



○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

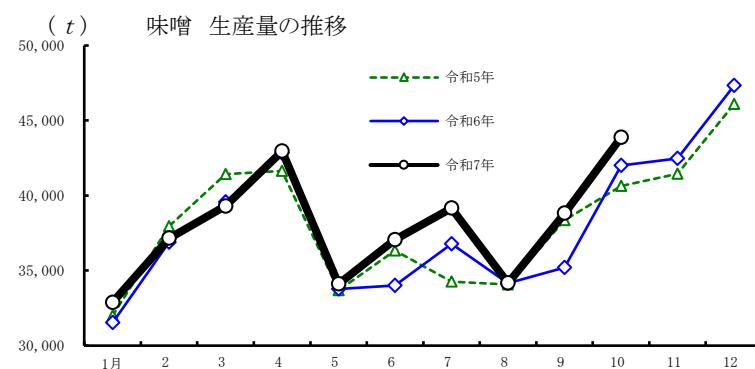
10月 2.7% 増加



○ 味噌

生産量 対前年同月比

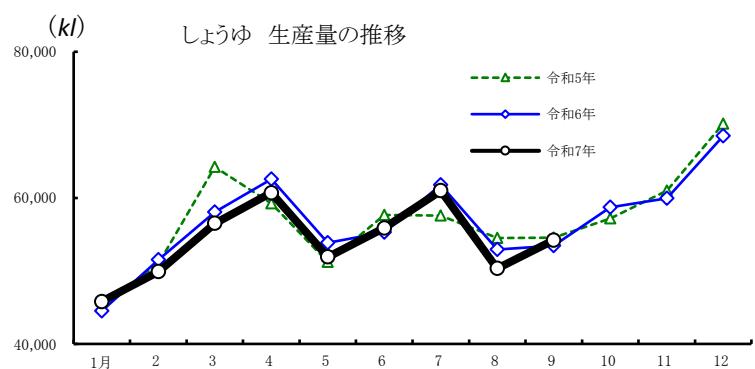
10月 4.4% 増加



○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

9月 1.4% 增加

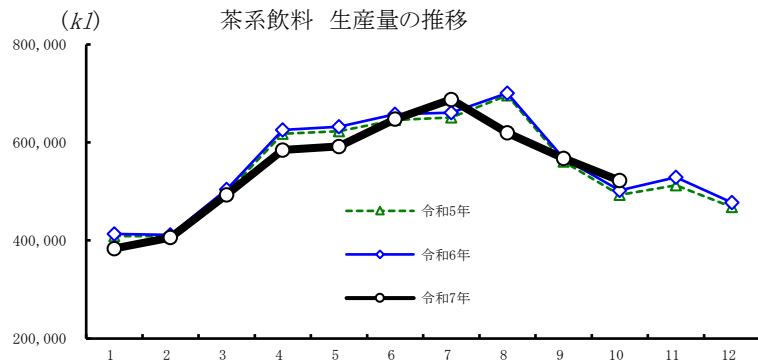


1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

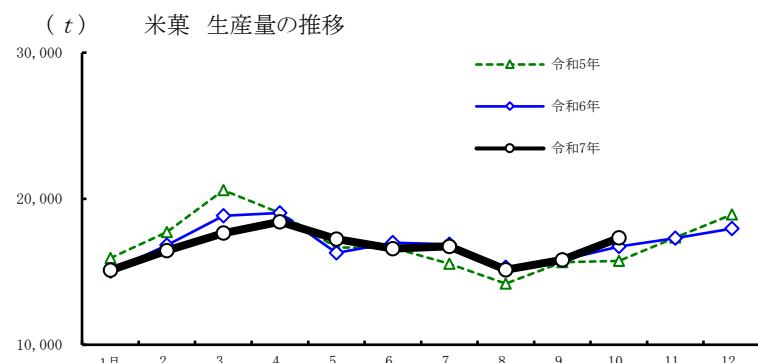
10月 4.0% 増加



○ 米菓

生産量 対前年同月比

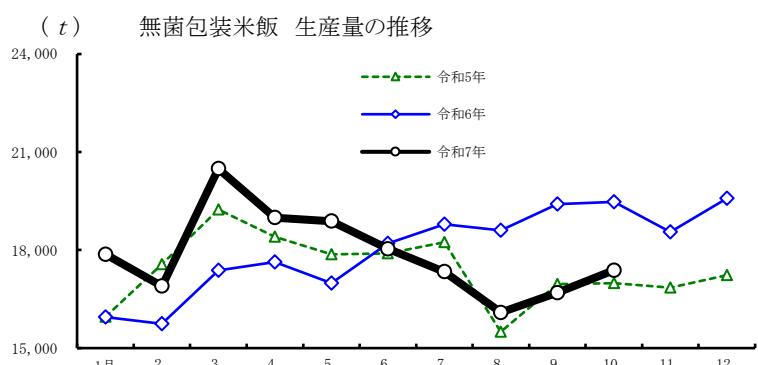
10月 3.5% 增加



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

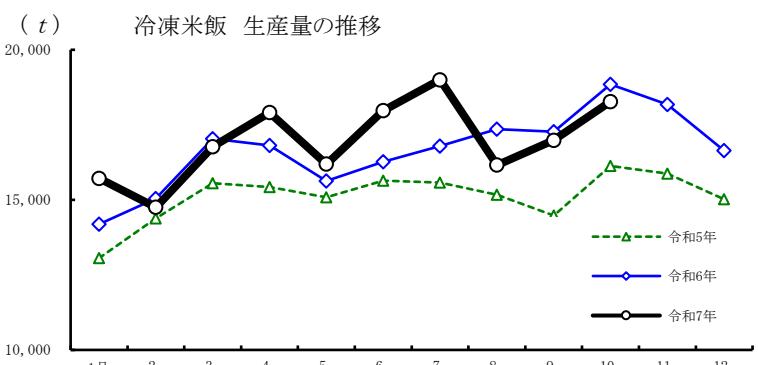
10月 10.7% 減少



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

10月 3.0% 減少



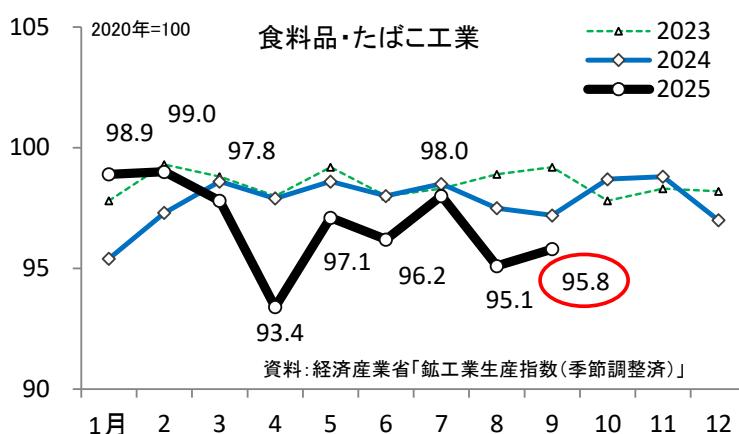
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

9月 1.4% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



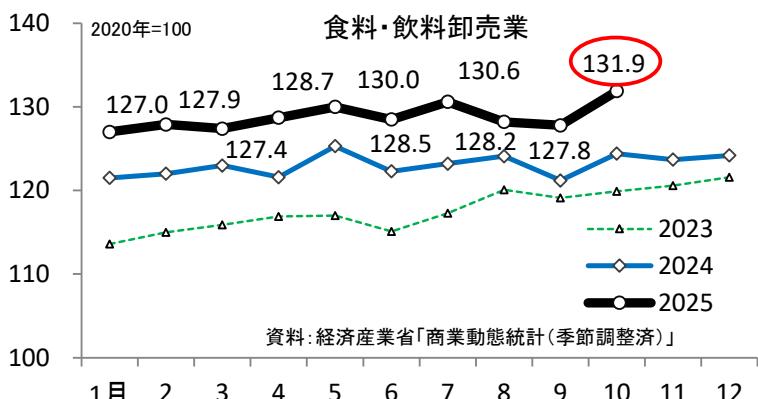
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

10月 6.0% 増加

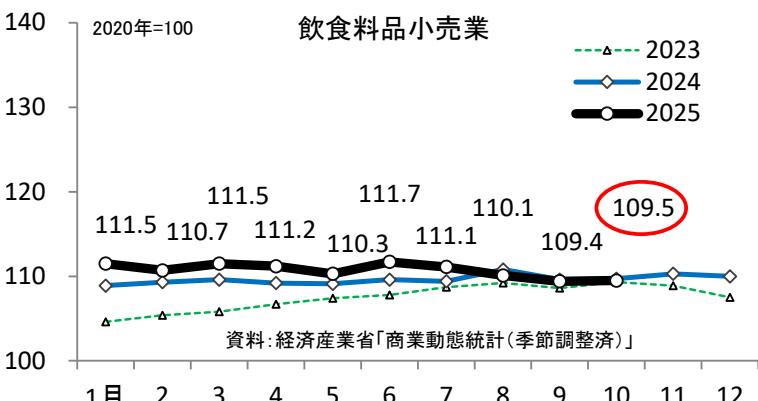
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。
具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品等の売上高（月次速報）について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

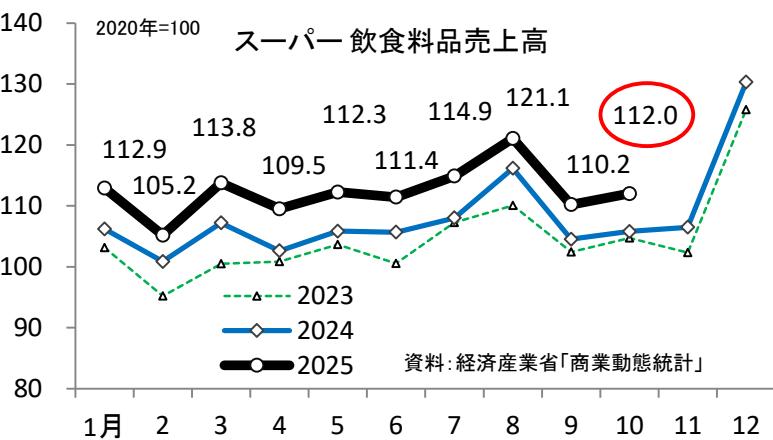
10月 0.2% 減少



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

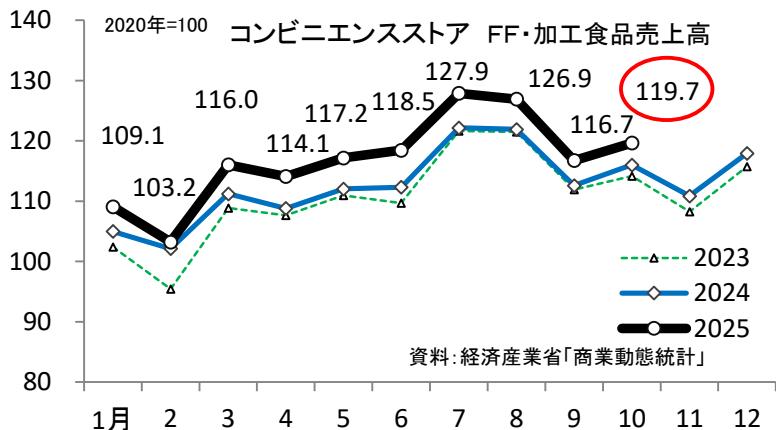
10月 5.9% 增加



2. 食品卸売業・食品小売業

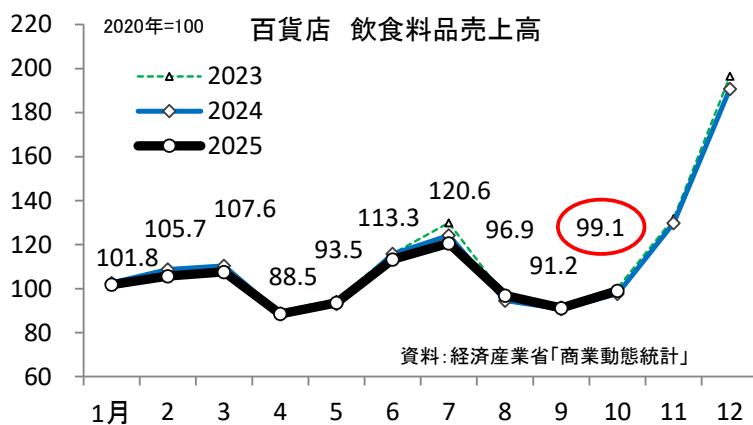
○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比
10月 3.1% 増加



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比
10月 1.4% 增加

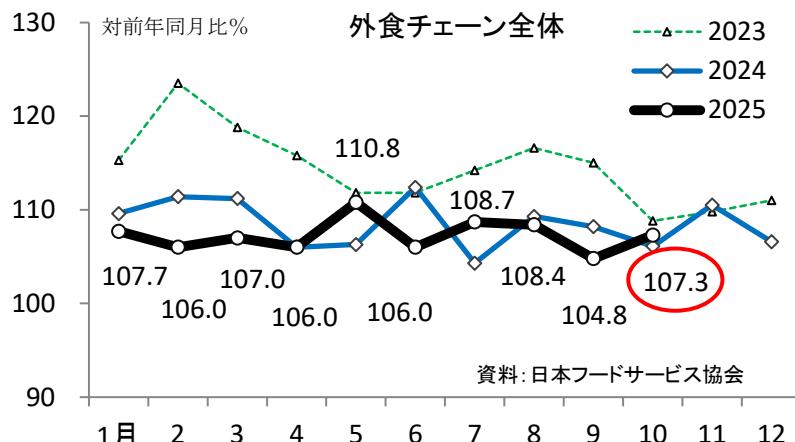


3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社
約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比
10月 7.3% 増加

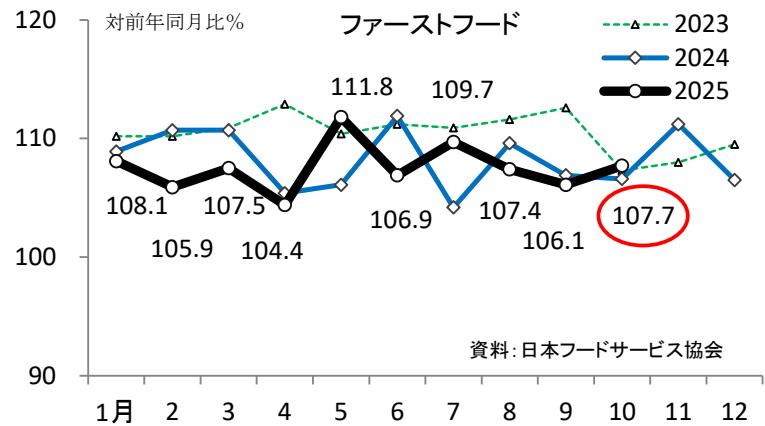


3. 外食産業

○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

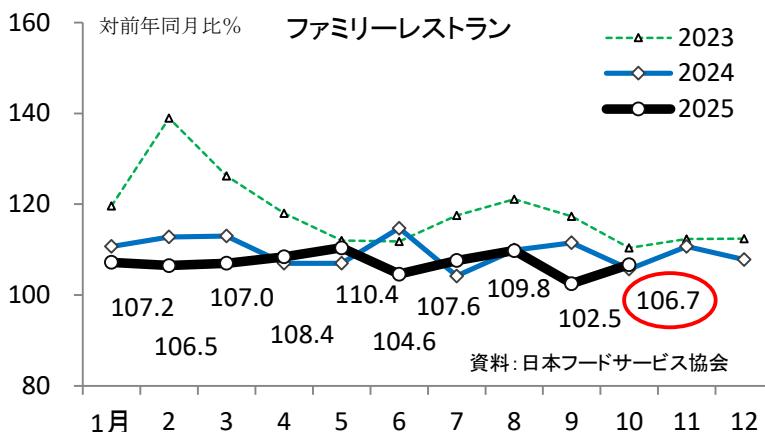
10月 7.7% 増加



○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

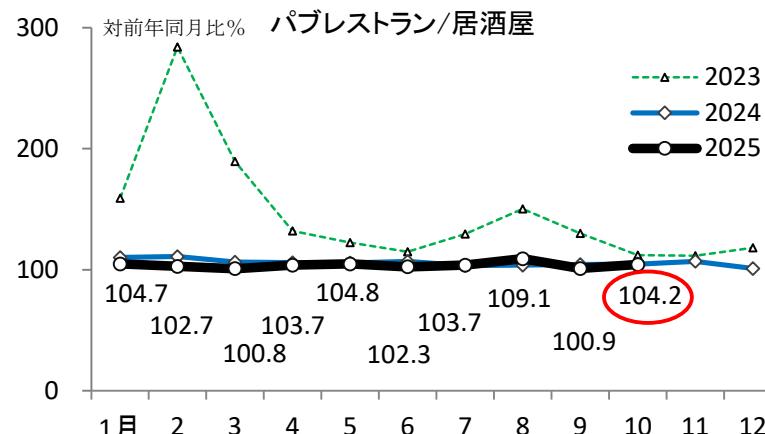
10月 6.7% 増加



○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

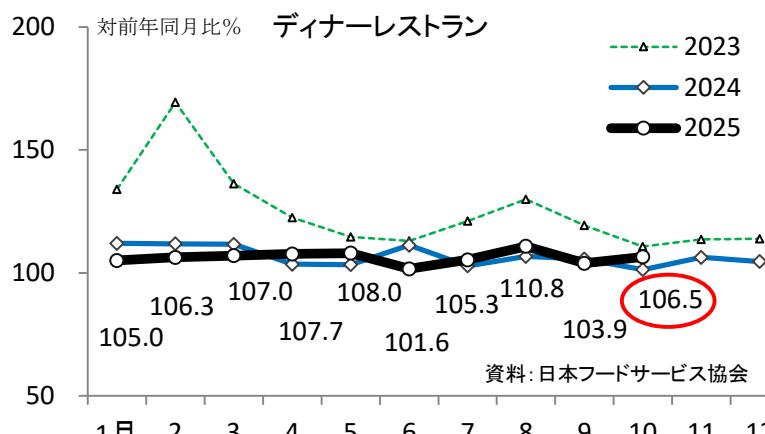
10月 4.2% 増加



○ ディナーレストラン

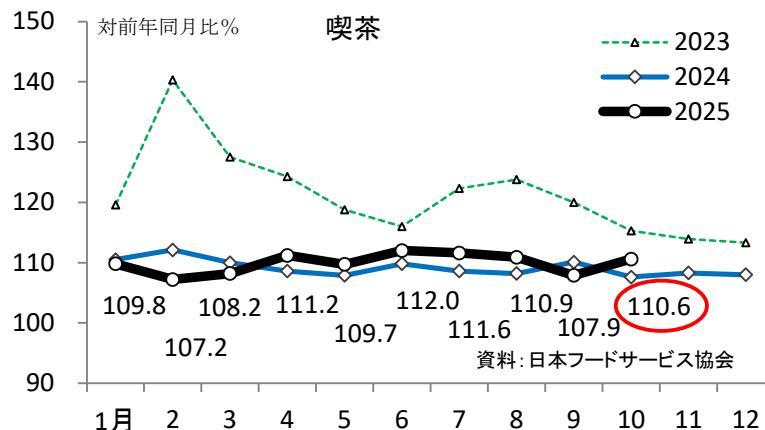
全店売上高 対前年同月比

10月 6.5% 増加



○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

10月 10.6% 増加

4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

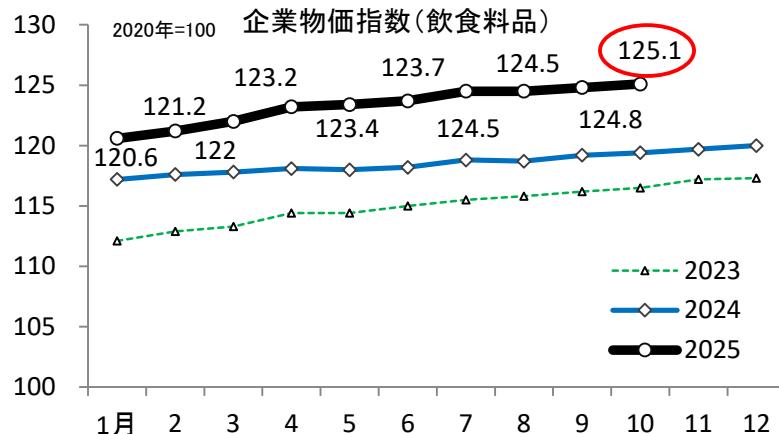
企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数
(飲食料品)

飲食料品 対前年同月比

10月 4.8% 上昇

資料:日本銀行「企業物価指数」

○ 消費者物価指数

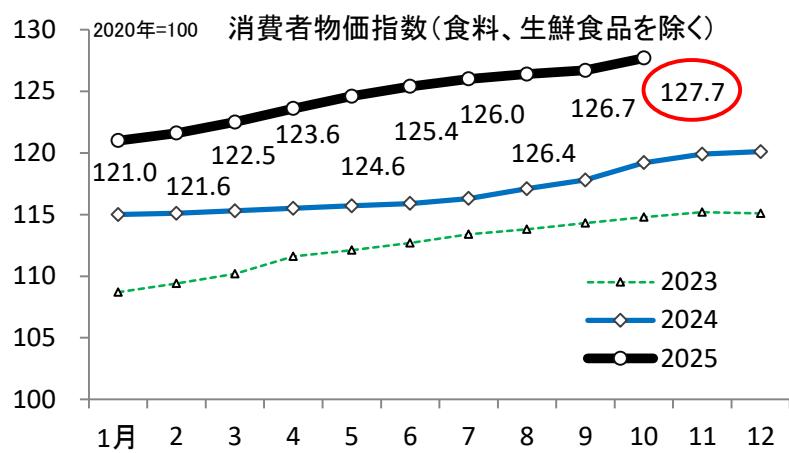
消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数
(食料(生鮮食品除く))

食料 対前年同月比

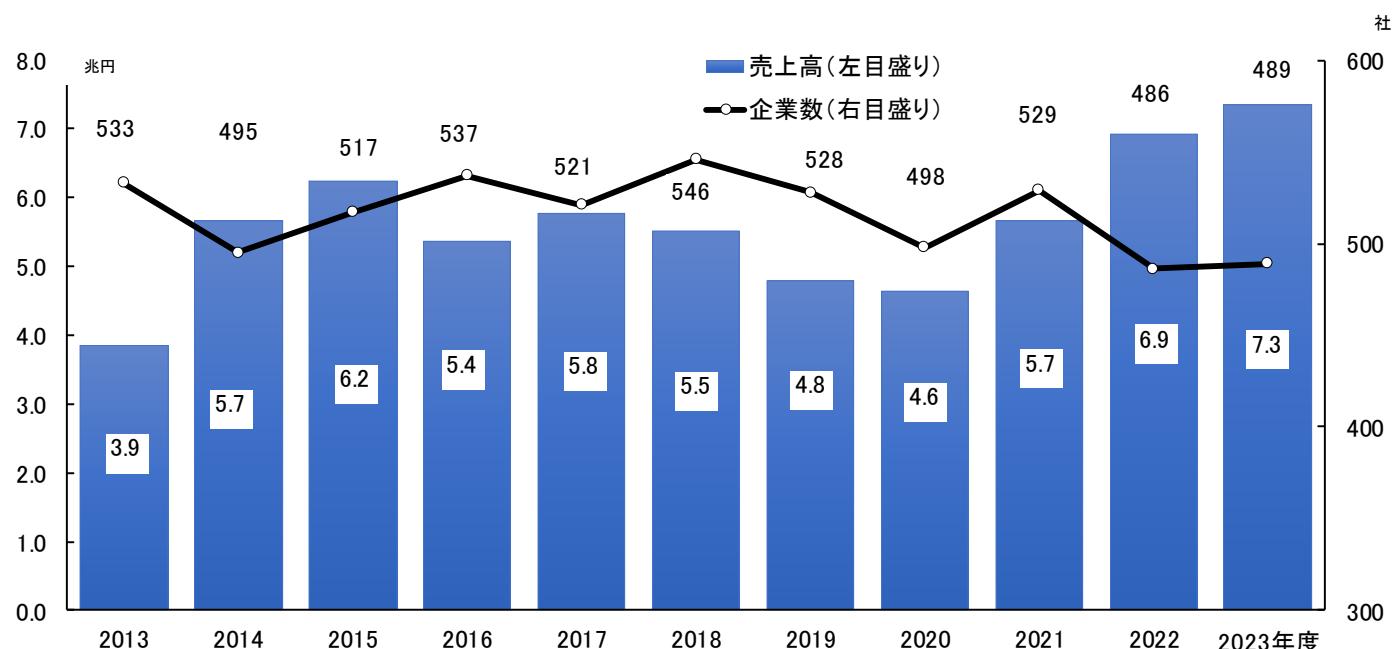
10月 7.1% 上昇

資料:総務省「消費者物価指数」

食品製造業の海外進出現地法人の売上高は、7.3兆円（489社）（2023年度）

2023年度の海外現地法人における食品製造業の企業数（回収数）は、経済産業省「海外事業活動基本調査」によれば、489社で前年度から3社増加した。また、合計売上高は7兆3千億円で対前年度比でかなりの程度増加している。一方、当期純利益は4,122億円で売上高当期純利益率は5.6%であった。

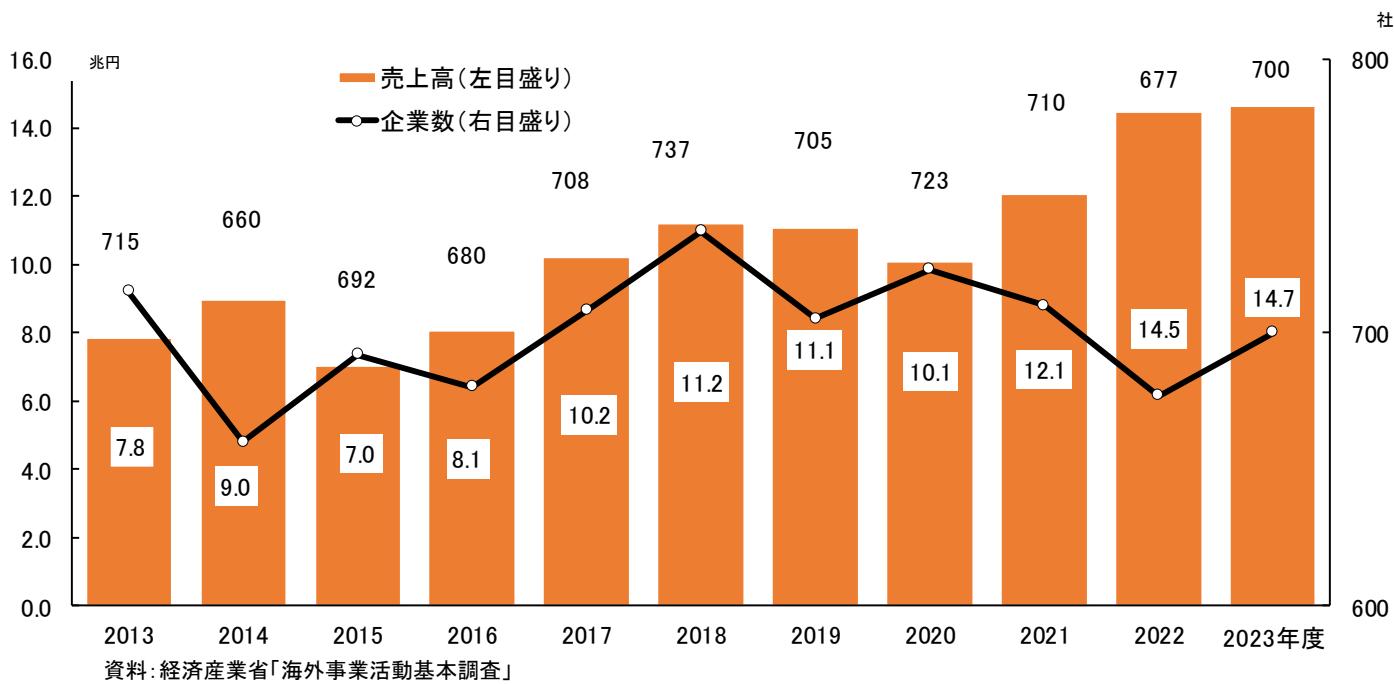
図1 食品製造業の海外現地法人の経営概要



資料：経済産業省「海外事業活動基本調査」

**小売業全体の海外進出現地法人の売上高は、14.7兆円（700社）（2023年度）
当期純利益は、2240億円で、売上高当期純利益率は1.5%**

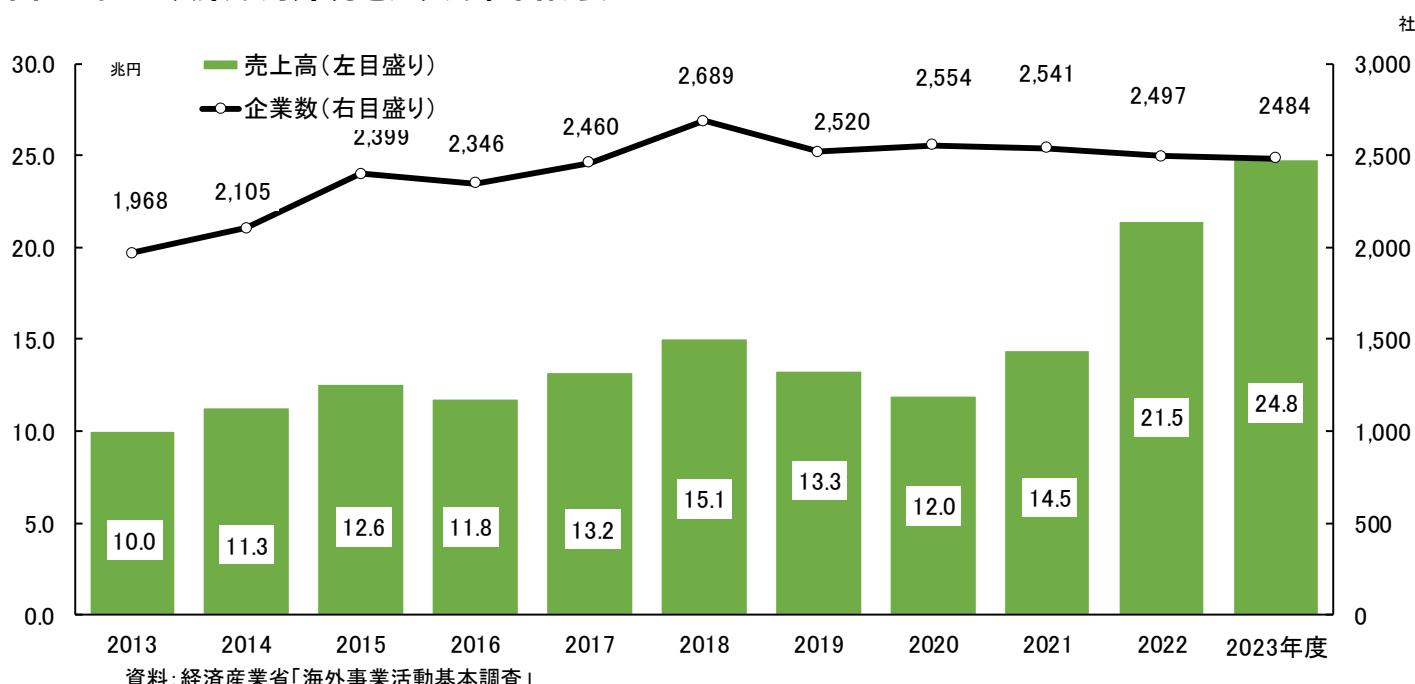
図2 小売業の海外現地法人の経営概要



資料：経済産業省「海外事業活動基本調査」

**サービス業全体の海外進出現地法人の売上高は、24.8兆円（2,484社）（2023年度）
当期純利益は、1億5494億円で、売上高当期純利益率は6.2%**

図3 サービス業の海外現地法人の経営概要



資料：経済産業省「海外事業活動基本調査」